

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58-174601

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>  
A 41 B 13/02  
G 01 N 31/22

識別記号

庁内整理番号  
7149-3B  
6514-2G

⑬ 公開 昭和58年(1983)10月13日

発明の数 1  
特許請求 有

Publication NO.: Sho 58-174601  
Publication Date: October 13, 1983  
Inbentor: Zengoro Hotta

(全 3 頁)

⑭ 排尿表示付おむつ

名古屋市西区庄内通 2-22

⑯ 特 願 昭57-54387

⑰ 出 願 人 堀田善五郎

⑱ 出 願 昭57(1982)4月1日

名古屋市西区庄内通 2-22

⑲ 発 明 者 堀田善五郎

⑳ 代 理 人 弁理士 水野桂

Claim:

The diaper indication urination for which the indicator is laid between the water absorbent layer and the waterproof sheet, that the said indicator is discolored in case of moistening the said absorbent by urination and then discoloration can be seen through the said waterproof sheet from outside.

明 細 書

1. 発明の名称

排尿表示付おむつ

2. 特許請求の範囲

着用者の肌にあはする内側になる透水シートと外側になる防水シートで吸水材を挟んで被覆したおむつにおいて、吸水材と防水シートの間に吸水材が湿ると変色してその変色が防水シートの外側から見える指示薬を配置したことを特徴とする排尿表示付おむつ。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、排尿のあったことを表示するおむつに関する。

従来の紙おむつと呼ばれる使捨ておむつは、紙やパルプのような吸水材を不織布のような透水シートと合成樹脂シートのような防水シートで挟み、中央部を巾狭にした長方形の吸水材の周辺から突出した透水シートと防水シートの周辺部を熱圧着して、吸水材を透水シートと防水シートで被覆し、一方の巾広端部の両側にそれぞれ粘着テープ

を取付けている。このおむつを常用する場合は、一方の巾広端部を母子や病人等の着用者の尻面に当て、巾狭中央部を股間に、他方の巾広端部を下腹部にそれぞれ当て、透水シート側を肌にあはして、下半身に沿って巻直し、一方の巾広端部の両側に一端を固定した両粘着テープの他端をそれぞれ他方の巾広端部の両側に接着する。ところが、排尿の有無は、外側からはわからないので、それを調べる場合は、両側の粘着テープを剥がし、下腹部上の巾広端部を開けて、おむつを外す。従つて、排尿のないときにもおむつを外すことになり、無駄な手数が掛る。また、粘着テープは一度使用すると接着力が低下して2度目には充分に接着しなくなるので、一度外したおむつは排尿の有無に関係なく捨てることになり、得ていないおむつも捨てることになる。

本発明の目的は、上記のような従来品における無駄をなくし、排尿の有無が外側からわかる排尿表示付おむつを提供することである。

本発明者は、上記の目的を達成するため、尿中

圖 / 圖は本港の東部の海況を示すものである。本港図、海図は港内を示すものである。

● 國産の電車を説明

• 4 7 9 2 2 8 4 3 8

[illegible][illegible]

更に考つて附屬してゐる。

本例の發展提示は、その適用の仕方

合衆新聞レークの防氷レープ(1)とこの防氷レープ(2)とを、四ツ手、五ツ手の風船状にしたレープの風水レープ(3)を風次張着して、防氷レープ(1)と風水レープ(2)で風水好(2)を挟み、風水好(2)の周辺から突出した防氷レープ(1)と風水レープ(3)の風合した周辺を膨圧着して、風水好(2)を防氷レープ(1)と風水レープ(2)で挟優してゐる。市井中先頭は25度、風船状に折曲し、一方の市井船頭の風船頭の防氷レープ(1)には、それだけ、粘着レープ(4)の一端を張着して固定し、市井船頭の周辺から突出した風船粘着レープ(4)、(4)の他端を、それだけ、防氷レープ(2)端に折戻して、その折戻し位置の風水レープ(2)に張着して固定した風船防止用レープ(5)に張着してゐる。そして、本船の海風表示付やびつは、風水好(2)と防氷レープ(2)の中央張着に、更によつて突出する後部の指示旗や風船張の旗、市井船表示等に合致した海風表示片(6)を挿入し、風船

この境界表示片は図によつて要約する。

図らず終ひなして終ひて居る。第2例の等距離分片は、5つある p 距離で  
 ある。人間の眼は能く距離 p 5 6 であるから、

を示す。

第一、別の諸國地分は、近代ヨーロッパ一々に漸進した國を基準に吟譯して完成した譯文のもの、又はこれに似た西文スタイル・システム（PVA）の國を吟譯して完成した譯文のものである。この諸國地分は、國中の水分によつて定

牙(三)には、齒々のものはめなほ、そのうちの歯列

瀋陽の茂林邸にゆづるのてゐるが、瀋陽は  
 めづて、その瀋陽城及びその城壁として瀋陽城とい  
 ふに可なり、瀋陽城といふ(三)の語が瀋陽を指し、瀋  
 陽城といふ(四)の語は非瀋陽の語である(二)に於て  
 へて可なりといふ、瀋陽のめづるべきなすといはれ

[illegible]

たつて、強固の有無が外理からわかるので、強固  
なほど、その外理が外理としての外理から入る。  
のないうちにむづろ外す無敵がない。

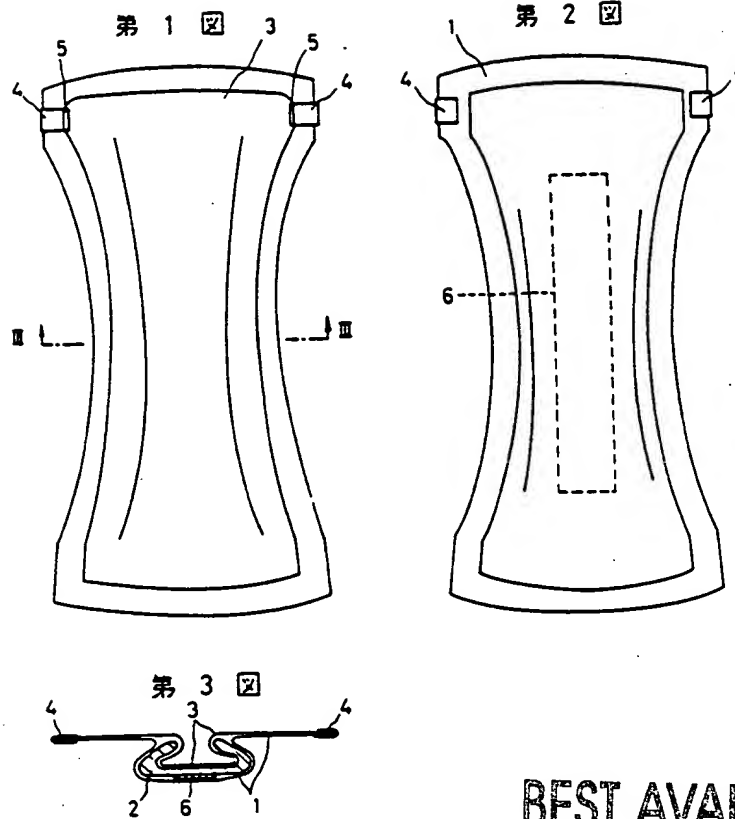
[illegible][illegible]

の水を分ち段分によつて所出する清水源に導出し、  
 その清水源で取水はた貯水バーツの間に貯蓄する  
 ために手入受入せらるゝ。上記のような清水源  
 があるのでこゝに貯蓄すれば、取水は容易によつて  
 導き出清水源が所出し、その所出は導く貯水バー

第3図は第1図のⅢ-Ⅲ線断面図である。

- 1: 防水シート      2: 吸水材  
3: 透水シート

特許出願人    堀田 香五郎  
代理人    弁護士 水野 桂



BEST AVAILABLE COPY

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**